

研究課題名	印刷労働者における1,2-ジクロロプロパン曝露による胆管がん罹患リスクの評価
研究の意義・目的	<p>2012年に大阪市内の校正印刷会社であるSANYO-CYP社（以下、s社）の従業員（元従業員を含む）において、胆管がん（肝内および肝外）が多発していることが発覚しました。厚生労働省の調査により、2012年末までに17人が発症したことが判明し、同省の業務上外検討会が「1,2-ジクロロプロパン（DCP）に長期間、高濃度曝露したことが原因で発症した蓋然性が極めて高い」と結論し、全員が労災に認定されました。</p> <p>s社でDCPが使用されていたのは1987年から2006年まであり、その間に95の方々がDCPに曝露されております。DCPへの曝露は既に終了していますが、発がん物質には潜伏期間（その物質への曝露を停止した後にも、がんを発症する）があるため、2013年以降も同社の従業員・元従業員から5人の新規患者が発生し、2023年末までの累計は22人となっています。また1人の方については、胆管がん以外の原因で亡くなられております。ただし、その他の72人の中にも胆管がん罹患者がおられる可能性があります。そこで、この研究では、この72人の皆様の胆管がん罹患状況を調査して、被害の全体像を明らかにいたします。これにより、DCPの胆管がん罹患リスクをより正確に評価できるようになり、今後の同様の被害発生を予防できるようになります。</p>
研究を行う期間	機関の長の実施許可日～2030年3月
研究協力を お願いしたい方 (対象者)	<p>1987年から2006年までの間のいずれか時期に、SANYO-CYP社の印刷部門に勤務されていた方の中で、次のいずれかに該当する方</p> <p>① 大阪公立大学医学部附属病院が実施している健康管理手帳（都道府県労働局交付）による胆管がん健診（以下「健康管理手帳健診」と呼ぶ）を2024年中に受診した方</p> <p>② 大阪公立大学医学部附属病院・先端医療予防部附属クリニック（MedCity21）が実施している特殊健診（以下「MedCity21健診」と呼ぶ）を2024年中に受診した方</p>
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせ ていただく試料・情 報等の項目	2024年中に受診された健康管理手帳健診のカルテ、あるいはMedCity21健診のカルテに記載された基本情報（生年月日、性別、s社での勤務期間および職務の情報）および胆管がん罹患の有無の情報、胆管がん罹患の場合は、診断年月日および診断名の情報
試料・情報を 利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者 の研究機関の名称	<p>この研究は、公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科肝胆脾外科学のみで行います。</p> <p>【研究責任者】木下正彦</p>
個人情報の取り扱い	<p>この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された診療情報などのこの研究に関するデータは、すぐには個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されます。</p> <p>この研究から得られた結果が、学会や医学雑誌などで公表されることもあります。このような場合にも、あなたのお名前など個人情報に関することは含まない形で公表されます。</p>

本研究の利益相反	本研究の利害関係については、各研究機関で定められた利益相反マネジメントの規定等に従って必要に応じて各研究機関の利益相反マネジメント委員会へ報告を行うことにより、利益相反を管理し研究を遂行します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	あなたの情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。
連絡先	所属：大阪公立大学大学院医学研究科 肝胆膵外科学 担当者氏名：木下正彦 電話番号：（06）6645-3841